第２号　2009 年１月１日発行

リラのいえ

新年明けましておめでとうございます

ＮＰＯ法人スマイルオブキッズ
代表理事　田川　尚登

あっという間に 2009 年がやってきました。昨年中は、皆様にはたいへん温かくスマイルオブキッズの活動を支えていただきまして誠にありがとうございました。

昨年は、リラのいえ建設工事から、開設準備、開設式典、オープンと駆け足で過ぎていきました。お陰さまでリラのいえは、神奈川県からこども医療センターとの協働事業と認められ、多くの患者家族に利用され 6 月 1 日の開設以来の平均利用率が 60%近くで推移しています。全国からの利用者は勿論、県内の利用者の割合が高く、県民の皆様のお役に立っていることは、我々にとっても「かながわ力」の一役を担っているという誇りを感じますし、小児医療の隙間部分をカバーしていくという会の目的を実践している喜びを感じています。

利用者の患者家族の方々からも感謝の声が、「リラのいえ」を支えているボランティアさんに多く届いており、さらに張り合いのある毎日が良い循環を生んでいます。

「リラのいえ」の運営理念は、まず患者の子どもたちと家族の立場に立つということを第一に考え、利用者に負担の少ない利用料で運営し、安全で衛生的で快適な施設を提供。個々のプライバシーを尊重しながら滞在する家族同士が支えあう居場所の提供をしていくことを理念に掲げております。そして難しい子どもの病気を抱える家族の不安を「リラのいえ」を通して減少させることとくつろげる環境の提供によって入院する子どもたちに笑顔で接することができるようにしていくお手伝いをすることが、運営者とボランティアさんの仕事です。またリラのいえは、隣接する地域の皆様との交流も大切にし、夏のバーベキュー（8 月 9 日）や秋のバザー（10 月 26 日）、クリスマス会（12 月 20 日）などで、利用者の家族やボランティアとの交流も行い、地域の皆様にもこの施設の目的を理解していただきました。

またスマイルオブキッズとして､4 月 4 日に横浜みなとみらいホール大ホールにて、南養護学校の子どもたちの作品を展示したチャリティーピアノコンサートを行いまし

た。その他医療センターの患者会の支援（7 月、10 月、11 月）や緑区の新治特別支援学校で関孝弘さんによる出前コンサート（7 月 12 日）で障害を持つ子どもたちの感性に少しでもいい刺激を与えられることができたと思っています。このような活動を今年も続けていく予定です。

今年も皆様のお力をお借りしながら、重い病気や障害を持つ子どもと家族のための支援活動をしていく所存でありますので、なお一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

リラのいえのこのごろ

開設後、7 ヶ月を経過し、新たな年を迎えました。
リラのいえにとってはご家族をお迎えすること、イベントなどに関連する事柄などすべてが初体験の中、順調な運びに進んできたように思います。これも、一重にご支援の皆様、ボランティア、こども医療センターよりのご指導、利用者の方々のご理解とスタッフが心を一つにした結果ではないでしょうか。皆様に深く感謝申し上げます。

利用状況は別表にて提示しておりますが、地域別では県内の方が 7 割を占め、この 10 年間「よこはまファミリーハウス」では部屋数が少なく利用できなかった地域の方が遅くまで安心して面会できるようになりました。県外では北海道、秋田、山形、福島、新潟、富山、長野、群馬、千葉、埼玉、山梨、東京都、静岡、兵庫、大阪、岐阜、三重、徳島、石川、中国などから利用されています。8 部屋満室時も時折ありますが、「よこはまファミリーハウス」を案内することでお断りはおきておりません。

最近の傾向として、お子さんの滞在の機会が多くあります。退院後、病院の近くでの療養が必要な方、入院中のきょうだいとそのお世話をされるおばあちゃまなどで日中でも利用者の方が過ごされる事が多くあります。そこで自然とボランティアとお子さんが仲良しになり、ご家族もちょっと息を抜く時間があるようです。

ご支援の皆様、関心をお持ちの方々、施設ではボランティアが 24 時間管理いたしております。どうぞ、「リラのいえ」へお立ち寄り下さいませ。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（佐伯　トシコ）

✎寄稿　「リラのいえ」の温かなあかりに寄せて

県立こども医療センター
看護局長　　古旗　美恵子

この時期は各地のイルミネーションの華やかさや美しさがよく話題になりますが、リラのいえにもイルミネーションが飾られています。イルミネーションの灯りは樹木の中の家を暖かい色で包み、その暖かい雰囲気に感銘を受けました。リラのいえは設立後半年が過ぎ、多くのボランティアの方々の手を借りて運営されています。その前進である「にじのいえ」のアットホームな雰囲気、暖かさを受け継いでいると思います。

こども医療センターには県内だけでなく他県からもより良い医療を求めて多くの患者さんが受診されます。リラのいえを利用される方々はそれらの患者さんのご家族です。面会時間が終わって病院から戻られるときには、患者さんの状態によって一喜一憂する思いや住み慣れた家を離れている不安、他の家族のことなど様々な思いを抱えていらっしゃると思います。こどもにとっては両親、特に母親の存在は何よりも大きく、その思いはこどもに伝わります。入院しているお子さんの回復のためにもご両親の心の安らぎは大切なことです。ボランティアをはじめ、このいえに集う人々との交流でご家族の思いが少しでも楽になられることを願っています。

施設利用状況（２００８年６月開設～11 月）

	６ 月	７ 月	８ 月	９ 月	１０ 月	１１ 月
家　族　数	30	21	25	26	29	24
宿　泊　数	139	182	175	103	130	129
延べ利用者数	310	297	319	232	247	248
稼動率（%）	57.9	73.4	70.6	42.9	52.4	53.8

～～～～リラのいえの行事～～～～

◇バーベキューの会◇

８月９日（土）暑い夏の日の昼さ中、リラのいえの玄関前のテラスを使ってバーベキューの会が開催されました。前日までに分担幹事により、ナス、ジャガイモ、トウモロコシ、タマネギなどの野菜類や牛肉、豚肉、イカ、丸イワシなどが買いだめされて、あちこちの冷蔵庫に収められました。

当日は、朝からキッチンに陣取った女性軍の手で切り分けられた具材がテラスに出

された机の上に所狭しと並べられ、テラスでは３台のバーベキューセットに炭火が赤々と焚かれ、11 時半の開始予定時間を待ち切れずに焼き始まった。ねじり鉢巻き？で汗をかきかき、左手に缶ビールを持って喉をうるおしながら炭を焚き、焼き具合を眺める男性軍も楽しそうでした。ボランティア各位の他、お泊りの患者ご家族と、近隣町内会からの参加者も含めて総勢二十数名が和気あいあい？焦げたお肉や野菜におむすびを分け合ってほおばりながら大声で語り合いました。翌日には手術と言う 2 歳の男の子が大はしゃぎであちこちに愛嬌を振りまいて歩き廻っていたのが微笑ましかったです。途中から飛び入り参加の Ｉ さんが自慢の弾き語りギターで場を盛り上げてくれ、曲をリクエストして歌ったお母さんもいてみんなで大喜び、楽しい時間を過ごすことが出来ました。ほろ酔い気分での後片付けが大変、余り物も多くゴミ袋が数個にもなりましたがなんとか無事に終了となりました。汚れてしまったテラスは翌日にＩさんが専用用具を使ってきれいに掃除してくれたそうです。

ご寄付してくださった方があり、テラスへの階段脇斜面にはシバザクラが一面に植え込まれましたので、来年夏には緑も増えてより一層雰囲気が盛り上がるバーベキューが楽しめるかも知れませんね。　　（山浦 襄司）

◇食事会◇

献立
＊きのこごはん
＊とうがんのお吸い物
＊筑前煮
＊根野菜の蒸し煮
＊サラダ

6月１日よりスタートしたボランティア業務に頑張っている皆さん40数名がどのような顔ぶれなのか、どんなことを考えているのか等いろいろ気になっていました。また利用者様の思いは・・・。そんな中みんなで食事でもしてみようということになり「利用者様を含めて集まりましょう」で急遽実施してみました。実施日は９月 23 日（火）10 時から、参加人数は利用者家族２名ボランティア 15 名でした。 調理は、皆で和気藹々と進み、おいしい味にできました（さすがに主婦）。自己紹介や、今後の運営に関して意見交換、おしゃべりに時間も忘れてしまいました。お顔と名前が一致し、今後の業務が円滑になるための有意義な会になったことと思いました。利用者様の参加は皆さん面会時間で不在、残念ながら １ 組だけでしたが人数分別途用意しておき、もどってきてからの食事にしていただき、大変喜んで頂きました。 このような会を時折設

けて、ボランティア、利用者の親睦をはかったり出来ればいいのではないかと思いました。（斉藤 美代子）

◇バザーとリラのいえ施設見学会◇

秋晴れの 10 月 26 日（日）11 時～15 時、近隣の皆様、こども医療センターの職員の方々、センターに入院、通院されているご家族、一般の方々等、多くの皆様に滞在施設とはどんなところか、なぜ重要で大切なのか、見て知っていただき今後のご理解とご協力をお願いかたがた、初めてのバザーと見学会を開催させていただきました。

準備期間が短かったにもかかわらず、手作り品や多数の品物、ご寄付を頂きました。品物の値付けにもボランティアが知恵をしぼりました。アプローチにはバザーの品々を、室内のホール・ダイニングルームにはコーヒーと手作り菓子の喫茶コーナー、お茶席コーナーを設け、休憩場所として皆様和やかに歓談されていたようです。

私は茶席担当でしたが、短時間に多くの方々が集中して来訪されましたので、説明等行き届かなかった点も多くあったと思います。スタッフ一同、反省点も含め来年にむけて準備を進めていきたいと思っている所です。リラのいえ開設以前より関わってくださっている方々もご遠方から駆けつけてくださり、又、好評で、賑やかに過ごしていただけたと思います。皆様の善意のご協力に感謝しています。ありがとうございました。そして今後共よろしくお願いします。（仲山 順子）

◇ジャンボツリーとクリスマス会◇

今年 6 月開所したリラのいえで、初めてのクリスマス会が 12 月 20 日土曜日夜 6：30 から開かれました。もみの木は天井まで届く程で枝振りが見事に四方へ伸びてすばらしく、手作り品のみで飾り付けができて、患者のお子さんとご家族も飾り付けに参加してくれました。外に面したテラスや手すり、木々の高い所までたくさんの電球をつけてくださり、夜遅く病院からの帰り道坂道を曲がると暖かい光が迎えてくれます。すべてボランティアさんが手作業で準備してくれました。

今年は初めてのクリスマス会なので、ボランティアさんが献立を考えてくれて料理ごとに担当と買出しが決まり、手際よく実にスムーズに準備が進み予定より早く仕上がりました。手作りの品々も持参してくださり、卓上はにぎやかになりました。患者家族の皆さんも順々とお帰りになり、

輪の中に入ってくださり会話もはずみ、皆さんの食欲のボルテージも上がりなごやかなうちにお開きとなりました。その後 2 次会用の席が幾つか出来てボランティアと患者家族の集いの場ができあがっていました。参加者はボランティア 19 名、こども医療センター関係ほか 7 名、患者家族 6 名でした。美容師としてボランティア活動中の蒲田さんが歌のプレゼントをしてくれました。開設の 6 月から 12 月まで 24 時間体制で活躍してくれたボランティアの皆さんのお陰でリラのいえの活動は事故もなくスムーズに行なうことができました。感謝しております。また、多くの皆様から沢山の励ましとご寄付を頂きまして運営ができました。重ねて御礼申し上げます。お子さん達が元気になって自宅に帰れることを願いながら、来年も日々感謝しながら活動していきたいと思っております。（岩崎 幸代）

ボランティアさん紹介①

中山（なかやま） 雄介（ゆうすけ）さん（71 歳・横浜市保土ヶ谷区在住）

❀ボランティアに参加したきっかけ

孫が平成 19 年 3 月こども医療センターに入院し、1 年で退院できました。その時目にしたことですが、ほとんどの親御さんは最終面会時間の夜 10 時まで入院患児に付き添い、それから帰路につきます。遠方の人が多く、ホテルを利用するので、時間的、経済的に大きな負担です。又、病院内でボランティア（オレンジクラブ）の方がきょうだい児の子守や入院患児の遊び相手をされており、感激しました。恩返しにボランティアをしたいと考えていた所、ファミリーハウス、スマイルオブキッズのことを耳にし、患者家族に素晴しいサービス、宿泊を提供する施設と感銘し、スタッフの方々に面会させて頂き、6 月より、毎週水曜日に宿泊当番を担当しております。

❀ボランティアをして感じたこと

スタッフの方々のご苦労に比べますと私の役割は僅かなものですが、夜遅く心身ともお疲れで帰ってこられる親御さんにより良い宿泊場所になるように努めています。利用者の方もルールを守ってくださり、それほど大きな負担ではありません。ボランティアを希望し見学にこられた人が、この仕事は責任が重く事務電話受付などがあり大変だと、躊躇されることがあると聞きますが、
自分の体力、得手不得手、時間の都合などを考慮して、例えば植木の水撒きのみとか、草取り限定、又、時間は週 3 時間のみのお手伝いも貴重なボランティアです。

どうか皆様、知人などに趣旨を十分説明し、多くの人に参加を働きかけ、ボランティアの数の輪を広げていきましょう。

第９回ＪＨＨＨネットワーク会議を横浜で開催

2008 年 11 月 9 日(日)、神奈川県立こども医療センターで第９回ＪＨＨＨネットワーク会議が開催されました。ＮＰＯ法人スマイルオブキッズとＮＰＯ法人ファミリーハウスが主催者となり、全国の患者・家族滞在施設関係 18 団体 79 名と一般参加者を含め 82 名が参加して医療センター講堂で午後１時から３時間にわたって話し合いました。

会議に先立ち、午前１１時から滞在施設リラのいえの見学を参加者にしていただき、今後の管理運営に生かすための意見を聞きました。リラのいえは構想から４年目に寄付金により実現した最新の施設であり、こども医療センターとの協働事業であることもあって見学者は関心が強く、案内した施設のボランティアは予期した以上に質問の時間をさきました。

ＪＨＨＨ（日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス）ネットワークとはそれぞれに独立して活動している全国の患者・家族滞在施設が、お互いにノウハウを共有し、運営の質的向上を図る目的で連携している全国ネットワークです。

およそ 70 運営団体、約 125 施設があり、年１回全国大会を開催しています。

会議はスマイルオブキッズの田川代表理事の開会の辞に始まり、第１部パネルディスカッション、第 2 部総合討論の形式で行われました。第１部は、施設の基本理念および施設の認知度向上について、ファミリーハウス植田洋子事務局長がコーディネーターとなり 5 人のパネリストと共にパネルディスカッションを行いました。基本理念に基づいた管理運営とその施設の認知度の向上によって医療環境の充実を図っていくことの重要性を確認しました。第２部は第１部のテーマ関連、その他の事項について質疑応答などの総合討論によって全国の活動状況、情報交換、課題を検討しました。

なお、11 月、12 月は全国で滞在施設の認知度向上月間のイベントが開催されましたが、今回の会議についてＮＨＫテレビ、神奈川新聞、毎日新聞で報道され、認知度向上に貢献できたのではないかと考え、会議の主催者として関係者の皆様に感謝申し上げる次第です。

（松尾 忠雄）

リラのいえ運営にご支援ありがとうございました

（2008 年 6 月 1 日～12 月 31 日）

≪寄附≫　※すべて順不同、敬称を略して掲載させていただきました

渡辺真哉/田畑正江/川上美祢子 /武居正則/水島朝子/池田龍子/工藤三津子/石野和男/北村叔子/藤本淳/植田/高橋房子ご家族一同/岩ヶ谷幸子/水谷京子/玉木加代/嶋田哲也/鈴木ユリ子/杉本紋子/鈴木昭/高橋恵子/岡村早知子/岡本政己/稲本かおる/木下和子/小沼あやの/小田原聖十字教会/上田絹子/三石佳子/仲宗根対子/川上賢治/上野皎

子/山野真純/喜田富江/小瀬村芳明/深澤時江/宮内喬夫/荻原順子/大竹裕也/石丸彰/安嶋裕美/宮沢政文/小山真由美/坂田みさお/田上真澄/吉野清美/大城晴美/町田久美子/黒川静子/浅井/斉藤元伸/大黒千代/宮本恭誠/上田美代子/羽田貞子/渡辺/森晃一/木下和子/久住存/大竹裕也/平野まり子/石丸彰/堀川恵子/安嶋裕美/神納智津子/岡田章/宋美智恵/須藤タケ/阿部豊/新治特別支援学校/清水建夫/佐藤綾子/福島亮一/上田絹子/冨澤春司/佐藤裕子/稲田深智子/野村則子/河野恒雄・ひろみ/米山實/川村征雄/山室陽子/渡辺/立石諒子/小牧誉弘/笠原由紀/山浦襄司/黒澤宗剛/田所清司/新倉久治/村山明子/小嶋英雄/小嶋冨美子/根津あき子/大西玲子/天海百合子/蛯名基子/手塚照子/三輪澄子/石丸彰/清水元/芹沢玲子/大竹裕也/安嶋裕美/伊藤寿子/樋口智子/吉池/森田知子/近藤トシ子/横田綾/木下和子/宋美智恵/渡辺/竹内昭子/株）ル・モンド・デザール/羽田貞子/田中充子/五十嵐典子/大谷幸子/森田安彦/平尾和子/株式会社イーエックス/渡邊美紀/千久田恵/柴田昌子/平野まり子/石丸彰/大竹裕也/芹沢玲子/中西綾子/安嶋裕美/宋美智恵/岩田安里/小林良平/斉藤元伸/木村聖子/渡辺/木下和子/後藤太郎/上田絹子/大野繁子/大久保八重子/竹田こどもｸﾘﾆｯｸ/鈴木康之/田川尚登/吉田眞弓/有本淳子/大竹裕也/三輪澄子/石丸彰/安嶋裕美/阿部豊/芹沢玲子/小林整治/増田眞里子/羽田貞子/初田茂/平尾和子/真道典子/渡辺/宋美智恵/平野まり子 /佐伯トシコ/小林整治/名和幸子/芹沢玲子/大竹裕也/石丸彰/平尾和子/安嶋裕美/大竹裕也 /白幡広記/木下和子/宗像正子/永田ちゑ/上田絹子/六ッ川体育指導員/六ッ川青少年指導員/渡辺/儀間小夜子/米田淑子/増井羊子/須佐井信子/小林良平/増田志保/小瀬桂子/柳原隆夫/高田映翠/ﾎﾝﾀﾞｶｰｽﾞ横浜南/オレンジクラブぽぽんた/白谷弥生子/中野千代子/清水建夫/成富育子/石井喜望/宋美智恵/丸茂弘子/三輪澄子/大竹裕也/小林整治/石丸彰/平尾和子/乾みち子/芹沢玲子/松島純子/寺島妙子/ｿﾌｨｱﾝｽﾞｳｪｰﾌﾞ鈴木邦子/高石直美/土屋栄一/赤木勝正・和子/山下薫/羽田貞子/山本順子/関口真由美/野崎信子/石川美奈子/安嶋裕美/小林良平/安藤みどり/平野まり子/堤京子/吉冨博・鈴江 /ｶﾄﾘｯｸ藤沢教会/吉田聡/渡辺/當山幸光/関英一郎/宮本恭誠/今野修卓

≪物品≫

井沢理髪店/㈱ミヤコヤ/ NPO ファミリーハウス/㈱ユック/小林良平/杉山恵子/㈱東芝社会貢献室/細川真路/鳥山正江/野村愛/草場晴美/田川/岡村加巳/難病のこども支援全国ネットワーク/高石直美/森田知子/清水建夫/鈴木正志/黒澤宗剛/三澤真理/橋詰忠司/伊藤寿子/石井康博/田上真澄/五十嵐典子/馬場史子/脇信恵/増田/吉田弓/大黒千代/土井隆太郎/後藤彰子/㈱ファンケル社長室・広報ユニット/竹田こどもクリニ ック/江原由利子/稲葉美穂子/近藤トシ子/高石直美/山本忠/堀節子/㈱ザンゴジャパン/野口康英/港南台幼稚園/中根はるみ/大塚民枝/横浜市立篠原小学校 PTA「虹橋-かけはし」/三井住友海上火災保険株式会社太田行則/西川孝枝/和田美和子/三宅礼子/金子みち代/江戸キヨミ/森田知子/上原佳澄/三村節子/小原/㈲アジナイホールジ

ャパン/佐藤洋子/津田貴信/渡辺正直/伊神久美子/㈱マテル社/㈱ファンケル/田口千穂/ハーベストフードジャパン

≪つつじ・玉竜の植栽≫神奈川トラストみどり財団

リラのいえ施設周りに 10 月植樹・植栽の寄贈がありました。

≪芝桜の植栽≫　横浜南ロータリー

リラのいえ入り口正面に 12 月 11,12 日芝桜の植栽の寄贈がありました。

≪ご家族の荷物発送≫クロネコヤマト運輸株式会社

2008 年 6 月～12 月まで運賃一律のご協力を頂きました。(39 件)

≪専門職ボランティア≫

フラワーアレンジメント、フットセラピー、アロマテラピー、美容師

リラのいえは皆様のあたたかいご支援とご寄付で運営されています。

≪ご寄付の振込先≫

ゆうちょ銀行

加入者名：ＮＰＯ法人　スマイルオブキッズ

口座番号：００２５０－０－１１３８１７

報　道　さ　れ　ま　し　た

(2008 年 6 月～12 月)

≪テレビ≫

11 月 9 日　NHK 首都圏ニュース　全国ネットワーク会議

≪新聞≫

7 月 29 日　読売新聞　こども病院そば親宿泊施設　付き添い少しでも楽に

8 月 22 日　はまかぜ新聞社　　子どもに寄り添える病院のそばに<わが家>を

10 月 9 日　タウンニュース　南区版・港南区版

福祉団体が各地でバザー・　六ツ川「リラのいえ」は見学会も

10 月 17 日　はまかぜ新聞社　「リラのいえ」バザーと見学会

11 月 11 日　毎日新聞　　病気の子どもらの滞在施設運営会議

11 月 14 日　神奈川新聞　　難病治療の支えに　横浜で全国会議

11 月 20 日　神奈川新聞　　テレカが結ぶ患者と家族

12 月　号　　業界新聞　　お母さん新聞　今も息子に笑顔を絶やさない

12 月 18 日　神奈川新聞　　心和ます光　患者家族の施設にツリー

≪雑誌・会報≫

時事通信社　厚生福祉　6 月 20 日　　地域を支える　こども病院そばに滞在施設

赤ちゃんとママ社　12 月号　患者家族のために‥心も身体も開放できる滞在施設

あすなろ会　7 月号　「リラのいえ」開設にあたり

心臓病のこどもを守る会　7 月号　　「リラのいえ」開設

自主の旗　11 月号　　ズームアップ　患者の家族のための滞在施設を提供して

≪パネル展示≫

9 月 20,21 日　ライフデザインフェア夢ファンド（パシフィコ横浜）

10 月 27 日　　企業と NPO 等との協働推進のためのフォーラム

（横浜情報文化センターホール）

11 月 8 日　　ハートオブキッズセミナー（神奈川県立こども医療センター）

お　知　ら　せ

≪チャリティーピアノコンサート「愛する子ども達のために　２００９」開催≫

２００９年６月１３日（土）ミューザ川崎シンフォニーホールにおいてピアニスト関孝弘さんによるチャリティーコンサートを開催します。開演時間等詳細は追ってご案内します。

≪きょうだい児あずかり保育事業の開始≫

リラのいえ多目的ホールにて 2009 年２月中旬よりきょうだい児のあずかり保育を開始する予定です。（月・火・金曜日 9 時～15 時予定）

****

リラのいえ

〒232-0066　神奈川県横浜市南区六ツ川 4 丁目 1124-2

電話・FAX：045-824-6014　e-mail：lilanoie@lilac.plala.or.jp

会報発行者

特定非営利活動法人　スマイルオブキッズ

http://www.smileofkids.jp　e-mail:toiawase@smileofkids.jp

****